

東京弁護士会

権力監視の 報道と平和憲法

第67回人権擁護大会第2分科会

「再び戦争の惨禍が起こることのないように「危機の時代」の
私たちの選択～」プレシンポジウム

報道の使命は戦争を 二度と起こさせないこと そのためには

報道の使命は戦争を二度と起こさせないことであり、
そのためには戦争への反省が随所に刻まれた日本国憲
法を物差しとして国家権力を監視する必要がある。
数々の賞を受賞した「憲法事件を歩く」の著者が、平
和や人権について問題提起した報道やジャーナリスト
のあるべき姿についてお話しします。

講師

渡辺 秀樹

信濃毎日新聞編集委員

長野県駒ヶ根市生まれ。早稲田大学第一文学部卒。1983
年、信濃毎日新聞社入社。報道部長、編集局次長、論説副主
幹などを経て、2018年から編集委員。

連載「憲法事件を歩く」で石橋湛山記念早稲田ジャーナリ
ズム大賞「草の根民主主義部門」大賞、平和・協同ジャーナ
リスト基金賞奨励賞、むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞
特別賞。

スクープ「判決文コピペか」でメディア・アンビシャス大賞
メディア賞、連載「芦部信喜 平和への憲法学」で平和・協
同ジャーナリスト基金賞奨励賞。

著書に「憲法事件を歩く」（2025年、岩波書店）、「芦
部信喜 平和への憲法学」（2020年、岩波書店）

2025年 **10/14** (火)

18:00～20:00 開場・ワライン入室
17:30～

弁護士会館2階講堂クレオ

東京都千代田区霞が関1-1-3

オンライン(Zoom Webinar)併用

参加無料

会場参加

オンライン参加

本会の本企画の案内ページ又は下の二次元コードからご入室ください

先着200名

先着500名

主催 東京弁護士会

共催 日本弁護士連合会

問い合わせ先 東京弁護士会人権課

TEL 03-3581-2205

東弁

憲法

検索

